

災害ボランティア講座「知ろう！災害ボランティア」実施報告

1 実施概要

日時：令和4年3月9日（水）18：45～21：00

場所：福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

主催：福岡市市民公益活動推進課、福岡市社会福祉協議会ボランティアセンター

内容：①災害支援を行う団体等の活動発表

②参加者同士の交流、情報交換

発表団体：NPO法人福岡被災地前進支援

エフコープ生活協同組合

特定非営利活動法人YNF

天理教災害救援ひのきしん隊福岡

一般社団法人SINKa

一般社団法人アースプロジェクト福岡

災害支援ふくおか広域ネットワーク（Fネット）

今日のプログラム

01 災害支援に取り組む団体等の活動発表

- ・災害時の支援の多様さを知ろう！
- ・福岡にある災害支援団体のことを知ろう！

02 参加者同士の交流・情報交換

- ・災害支援に関して話(例：事例、考え)を聞いてみよう！
- ・災害支援に関心のある人同士でつながろう！

2 災害支援を行う団体等の活動発表

様々な活動形態で災害支援をされている7つの団体に、団体発足のきっかけや平常時における活動、実際に被災した現場での活動経験などを発表して頂いた。

「災害ボランティア」と聞くと、個人で災害ボランティアセンターへ行ってボランティアに参加するイメージがあるが、ボランティア団体に登録をして団体と一緒に活動をしたり、企業としての支援、募金や物資を通しての支援など様々な方法がある。また、災害ボランティア団体と言ってもその活動形態や内容は様々で、学生と一緒にやるボランティア、一般の方では難しい重機を使った作業、企業の強みを活かした物資面での支援、災害時の支援だけでなくその後の再建の支援、災害支援を行う団体用の基金を立ち上げ民間ボランティア団体へ寄付による支援、平常時におけるセミナーや訓練の実施、団体同士のネットワーク構築等、様々な活動がある。直接団体の方から活動内容を聞き交流することで、災害ボランティアセンターでのボラ



巨大台風接近中！風水害体験シミュレーションゲーム

風水害24

台風・水害について知りたい！

自分は正しい判断ができるだろうか？

巨大台風の接近から直撃・通過までの24時間をリアルに体験することを通じて、風水害についての知識を学び、適切な判断・行動ができるようになることを目的とした体験プログラムです。

24時間を10ターンに分け、各ターンで移動・声掛け・情報収集などを行います。あなたは、風水害から自分自身を守り、地域の人達を助けることができるでしょうか。

前上最大級 台風が接近中

(福岡被災地前進支援発表資料抜粋)

ンティアだけでなく、自分にできることやしたいことにあった団体に参加して活動することができ、災害ボランティアを行う際の選択肢が増える。多様な取り組みを知り、災害ボランティアを身近に感じて頂く機会となった。

2021年12月19日 熊本県八代市 (25名)



(アースプロジェクト発表資料抜粋)

3 参加者同士の交流、情報交換

参加者16名を3つのグループに分け、途中でグループ変えをし交流、情報交換を行った。交流に際してテーマは特に設けず、自由に交流をして頂いたが、どのグループも活発に意見交換が行われていた。発表時間が短かったこともあり、交流の時間を使って団体発足のきっかけや普段どういった活動をしているのか質問したり、実際の災害ボランティアでの経験について共有しているグループ、福岡市の災害に対する意識や行政としての取組み等について



感じていることや課題等を出し合っているグループ等様々であった。所属や年齢が様々で普段なかなか関わることのない方々が自由に意見交換、情報共有できる良い機会となり、参加者の方々からもこういった機会を定期的を開いてほしいというような嬉しいお声もあった。

4 参加者の声

- ・企業が団体として活動しているケースが増えてきていることが頼もしく感じた。
- ・改めて私たちが何のために生まれた団体なのか考えることができました。
- ・今後また時々顔を合わせる機会があれば良いなと思います。
- ・災害時、団体の方々がどのように活動されているのか、こういった機会でないとは知りませんので、本日少しの時間でしたが参加させて頂き活動の内容を知ることができてとても興味深く思いました。また、団体さんの同士の今回のような交流は素敵だなと思いました。
- ・エフコープ様が九州北部豪雨の際に「氷」を提供されたことがとても印象に残りました。
- ・とにかく毎年毎年こういう場を設けて、市民（災害支援団体含む）同士の情報交流、知識、経験の交流の場を設定していただきたい。